

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23220	
事業名	さっぽろ雪まつり事業費						
評価担当課	所属名	経)観光・MI 観光・MICE					
	課長名	西田	担当者名	南・森	電話番号	211-2346	
施策名	主	魅力あるまちづくりと観光振興の一体的推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	さっぽろ雪まつり観客数の増加(平成26年度 235万人 → 令和元年度 275万人) さっぽろ雪まつりに参加している市民ボランティアの満足度の向上				
		長期	観光閑散期である冬場の観光振興、来札観光客の増加				
	取組内容	観光閑散期である冬場の観光振興、来札観光客の増加のため、さっぽろ雪まつり実行委員会への補助金交付等を行う ①さっぽろ雪まつり開催補助金の交付(つどーむ会場会期延長分、警備用監視カメラ購入分含む) ②3基の大雪像制作、大雪像制作統括員の雇用、市民ボランティアへの大雪像制作指導等のための補助金の交付 ③大雪像制作隊長育成 ④つどーむ会場周辺除雪 ⑤プロジェクションマッピング					
	実施結果	・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、会場展開を中止し、「オンラインさっぽろ雪まつり2022」を開催(2月5日~28日) ・オンライン雪まつり特設ホームページの閲覧数:165, 545PV ・写真コンテスト応募数:4, 508枚					
事業実施における工夫点	事業主体である実行委員会事務局と綿密に打ち合わせ、当イベントの安定的運営と魅力アップを図った。						
対象者	市民、観光客、市内外の商業者・観光業者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	政令市をはじめ、多くの自治体でイベントに対する補助を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	171,636	418,000	212,645	418,000
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.5	0.6	0.6	0.7
人件費	3,600	4,320	4,320	5,040
計(事業費+人件費)	175,236	422,320	216,965	423,040
事業費の内訳	令和3年度決算	雪まつり実行委員会への補助金 212, 645千円		
	令和4年度予算	・さっぽろ雪まつり実行委員会への補助金他 398, 005千円 ・つどーむ会場周辺除雪費 5, 995千円 ・プロジェクションマッピング補助金 14, 000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	大通会場の開催日数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	オンライン開催	8日	オンライン開催	8日	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	さっぽろ雪まつり経済効果			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	未計測	550,000千円	未計測	550,000千円	
成果指標2	指標名	さっぽろ雪まつり観客数			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	オンライン開催	2,850,000人	オンライン開催	1,500,000人	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルスの影響によりオンライン形式による開催へと変更したが、フォトコンテストや雪像制作動画の配信など、雪まつりをはじめとした札幌の冬の魅力を国内外に発信することができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	例年、大通会場においては雪像等を見ることを中心とした展開、つどーむ会場は体験型のアトラクションを中心とした展開をしており、市民や観光客、年齢層にとらわれずに幅広い魅力展開ができているため、事業規模は適切であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	平成29年度までに事業全体を札幌観光協会に移管しており、適切な形で運営されているものと考えます。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	例年200万人を超える来場者を維持しており、来場者のニーズには応えられていると考えます。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン形式とのハイブリッド開催など新たなコンテンツによる魅力向上。</li> <li>・少雪の際の雪まつりのあり方の検討。</li> </ul>				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	感染拡大防止対策を意識したイベントの実施		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	令和3年度も新型コロナウイルスの影響によりオンライン形式での開催となったが、昨年度好評であったフォトコンテストの実施や雪像制作動画の配信、世界的に有名なDJによる、雪まつりトリビュートライブなど幅広く注目を集めるコンテンツを展開できたと考えている。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 現状維持での開催を基本としつつ、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた取り組みを検討していく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 現状の予算規模の中で、さらなる魅力を高められるよう実施していく。		見直し効果額	0